

## あと施工アンカー不要で短工期 自己圧着ブレース工法

学校での耐震補強工法は、夏休み中の短い期間で工事が終了する工法が要求される。自己圧着ブレース工法は、プレストレス力と皿バネにより、既存骨組に圧着させる新しい耐震補強工法である。このため、あと施工アンカー等が不要な工法であり、短工期を実現した。

### 【特徴】

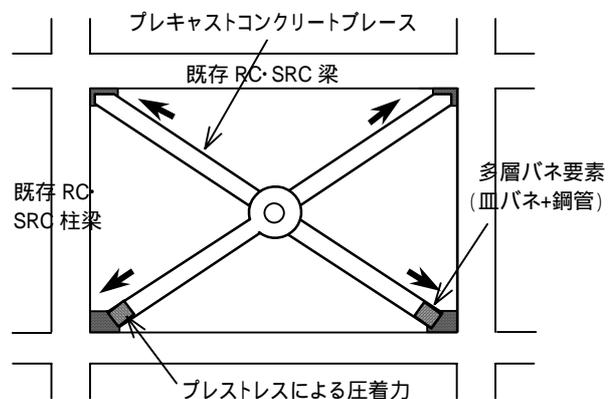
プレキャスト部材であるため、現場での工期は短い  
 あと施工アンカーが不要なため、ローコスト・短工期施工であり、工事中の振動・騒音・粉塵が少ない  
 仕上げモルタルの撤去は、骨組み四隅のコーナー部分だけなので、ローコスト・短工期施工  
 ブレース位置の変更に柔軟に対応できる、汎用性の高い工法  
 耐震壁の増設とは異なり、窓の開口部はそのまま使用可能であるため、採光はほとんど変化がない  
 GBRC 性能証明 第 03-09 号(日本建築総合試験所)  
 特許第 3541186 号



建物全景

### 【機能・性能】

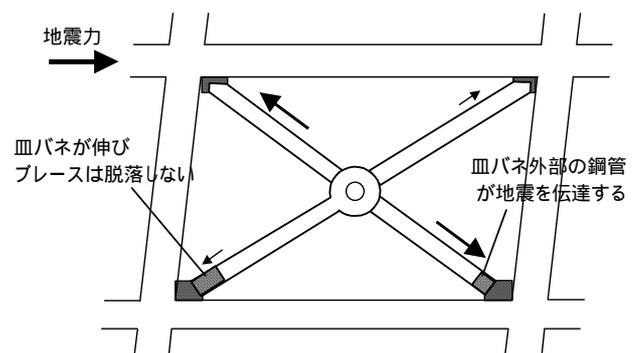
プレストレスの解放によってPCa ブレースを既存骨組に圧着し、一体化する  
 PCa ブレース端部に皿バネを設置し、PCa ブレースにはプレストレスによる圧着力が常に作用している  
 高強度コンクリートブレースであるため、大きな地震力を負担する  
 地震発生時には、圧縮側のブレースで地震力を負担する  
 引張側ブレースは、皿バネが伸び、圧着力により建物から脱落しない



自己圧着ブレース工法の概要

### 【建物概要】

所在地:大阪府  
 主用途:教育施設  
 建築面積: - m<sup>2</sup>  
 延床面積:4,376.6 m<sup>2</sup>  
 階数:地上 5 階/地下 - 階  
 構造種別:鉄筋コンクリート造  
 標準工期:1.5 ヶ月  
 標準工費:約 250 万円/箇所  
 採用補強法:自己圧着ブレース工法、鉄骨ブレース工法



地震時の挙動